

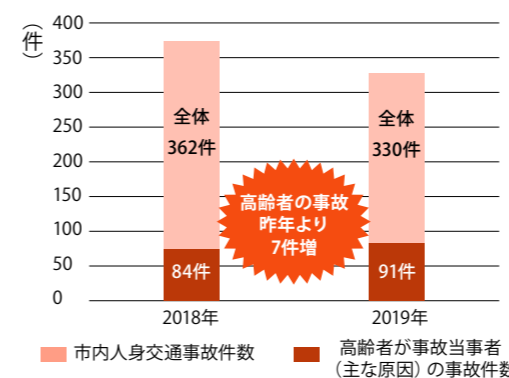
高齢ドライバーの安全運転を推進

高齢ドライバーによる重大事故が後を絶ちません。今年の4月に都内で起きた高齢ドライバーによる重大事故をきっかけに、高齢者の事故が注目を集めています。

最近では、著名人が免許証を自主返納したことを公表するなど、さまざまな動きが広がっています。

しかし、普段の生活に車を利用することが欠かせないのも事実です。今月の特集では、高齢者が安全に車と付き合う方法について考えます。

市内の人身交通事故発生状況 (8月末時点)



市内の交通事故発生状況
 市内で発生した人身交通事故は、330件(8月末時点)で、昨年より32件減少しています。しかし、高齢者が主な原因となった交通事故は91件(8月末時点)で、昨年の84件から7件増加しています。
 事故の傾向としては、交差点内での事故が多く、原因は状況によりさまざまですが、一時不停止や信号無視などがあげられます。
 高齢者の事故を防止するためには、高齢者の特性に応じた対策が必要とされます。

高齢ドライバーの特徴

高齢ドライバーの特徴として、加齢とともに目や耳などの身体機能の衰えや、判断力の低下などがあげられます。
 視力が低下したり、視界が狭くなったりすると、運転時の安全確認で見える範囲が狭まり、自分では確認したつもりでも、実際は見えていなかったなど、事故につながる危険性があります。
 また、運転時は周囲の状況が変化するため、認知能力が低下すると、瞬時に適切な判断ができず運転操作の誤りなどにより事故を起こすこともあります。

満70歳以上の高齢者の運転免許更新は講習受講が必須

満70歳以上の高齢者が運転免許証を更新する際は、高齢者講習の受講が義務付けられています。
 高齢者講習では、交通安全に関する講義や、視力など運転適性の検査、教習所コースでの運転指導などが行われ、75歳以上のかたは認知機能検査も必要となります。

運転免許更新に伴う高齢者講習受講者に聞きました!



小暮さん (市内在住)

車の運転歴が長いので、自分では気付かなかった運転時の癖などを今日の講習で認識しました。

免許を取得した頃の初心に戻って、運転時は基本事項に注意し気を付けます。



鳥羽さん (市内在住)

見通しの悪い場所や一時停止の際の安全確認について、高齢者講習で再確認することができました。

これから運転する際は、より安全確認を意識しようと思います。

※今回は、市内で高齢者講習を実施している『深谷自動車教習所』に取材協力いただきました。満70歳以上のかたが免許証を更新する際は、有効期間満了日の6カ月前から高齢者講習が受講できます。免許証更新に伴う高齢者講習の申し込みは、早めに行いましょう。

安全運転サポート車などの活用
 高齢ドライバーの事故防止に講習を通じて、加齢により変化した自分の身体機能や運転能力を客観的に確認できます。安全に運転するためには、自分の運転状態をきちんと自覚し、運転時に何に気を付けるべきかを再認識することが重要です。



▲高齢者講習の様子

は、安全運転を支援する『被害軽減(自動)ブレーキ』や『ペダル踏み間違い時加速抑制装置』などを搭載した安全運転サポート車の利用も有効です。
 また、既存の車に後付けできる『ペダル踏み間違い防止装置』なども一部の自動車販売店や自動車用品店で販売されています。
 事故の回避または被害軽減に役立つ一つの手段として、このような運転をサポートする機能を活用し、安全運転を心掛けましょう。

運転に不安を感じたら…

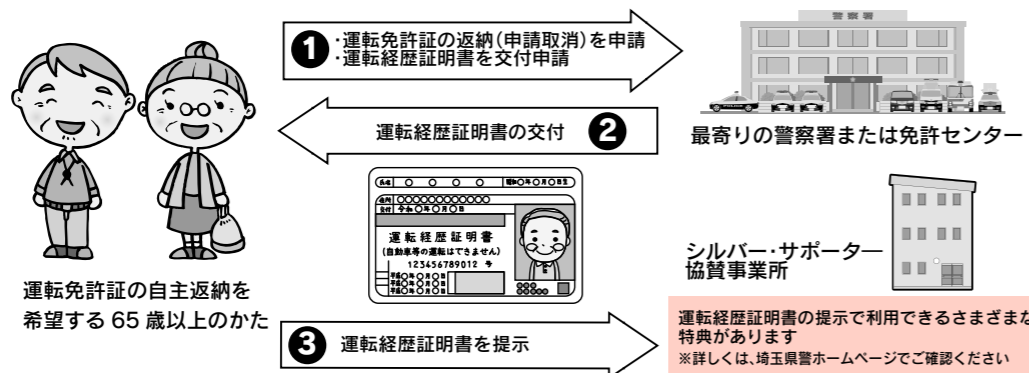
免許証の自主返納もひとつの手段です

年齢を重ねるにつれ運転に不安を覚えたら、運転をやめる(免許証の自主返納)という方法もあります。

免許証の自主返納をした場合、申請により公的な本人確認書類として使用ができる『運転経歴証明書』が交付されます。

また、『運転経歴証明書』の提示により、事前に登録されたシルバー・サポーター協賛事業所で特典(市内循環バスやタクシーの割引など)を受けられる制度もあります。自主返納手続きについて詳しくは、最寄りの警察署または免許センターにご確認ください。

高齢者運転免許自主返納サポート(シルバー・サポーター制度)



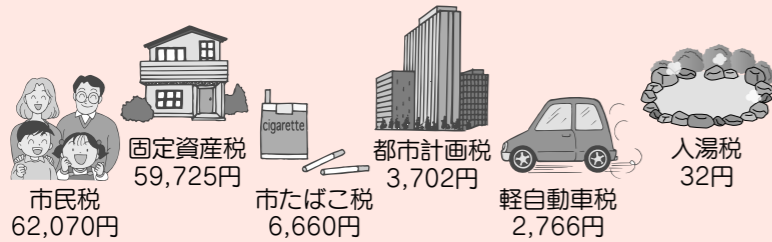
一般会計

市の基本的な経費を取り扱う会計

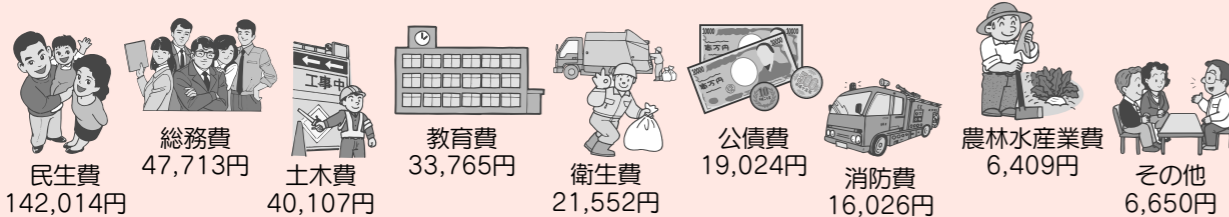
市の財政を1人当たりで換算すると…

※143,512人（外国籍のかたを含む・平成31年3月31日現在）で計算

市民の皆さん1人当たりが負担したお金 **134,955円**



市民の皆さん1人当りに使われたお金 **333,260円**



※上記の『市民の皆さん1人当りに使われたお金』は、『市民の皆さん1人当たりが負担したお金』のほか、国庫支出金や地方交付税などを財源としています。

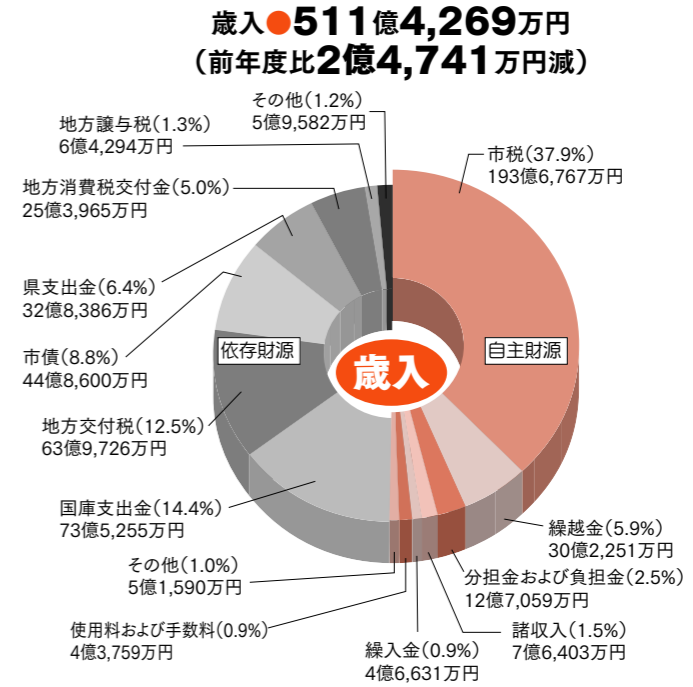
市税（市民の皆さんが負担したお金）の内訳は、市民税89億770万円、固定資産税85億7,127万円、市たばこ税9億5,582万円、都市計画税5億3,133万円、軽自動車税3億9,691万円、入湯税464万円です。

市税のうち都市計画税は、都市計画事業（道路や下水道など都市計画施設の整備に関する事業）または土地区画整理事業に要する費用に充てるために課税される目的税です。平成30年度は、土地区画整理事業や下水道事業などの財源として活用しています。

歳入のポイント

市税は、法人市民税や市町村たばこ税の減少により、全体として減少しました。また、歳入全体としては、地方交付税や国庫支出金などの減少により、総額では前年度比2億4,741万円減の511億4,269万円となりました。

自主財源：市税や使用料など市が自主的に集めることのできる財源
依存財源：地方交付税や国・県の補助金など、国や県などから交付される財源



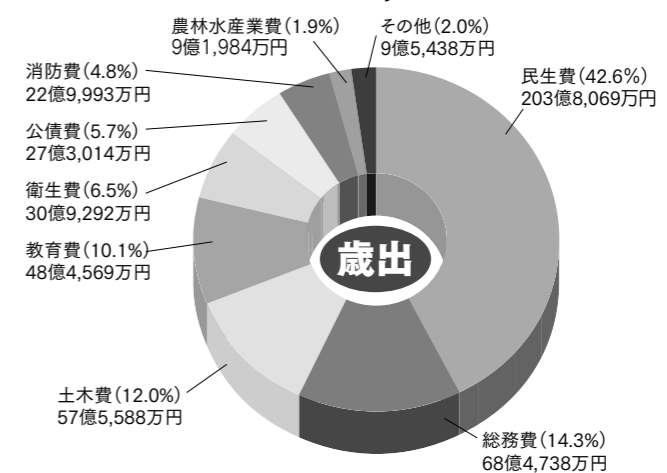
歳出のポイント

歳出は、中学校給食場建設事業の完了や、臨時福祉給付金等給付事業が終了したことから、総額では、前年度比5億4,074万円減の478億2,685万円となりました。

平成30年度の主な事業

- ・新庁舎整備事業
安全・安心な防災拠点、シンプルで機能的な庁舎の建設
決算額：13億4,633万円
- ・岡部公民館建設事業
地域コミュニティの拠点としての公民館の建設工事
決算額：3億226万円
- ・学力向上推進事業
標準学力検査の実施などを通じ、児童生徒の学力向上を図る
決算額：1,262万円

歳出 **478億2,685万円**
(前年度比5億4,074万円減)



特別会計

特定の歳入歳出を一般会計と区別して経理する会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	154億9,365万円	151億8,724万円
後期高齢者医療特別会計	26億5,423万円	26億3,744万円
国済寺土地区画整理事業特別会計	6億6,163万円	5億3,368万円
岡中央土地区画整理事業特別会計	7,470万円	3,443万円

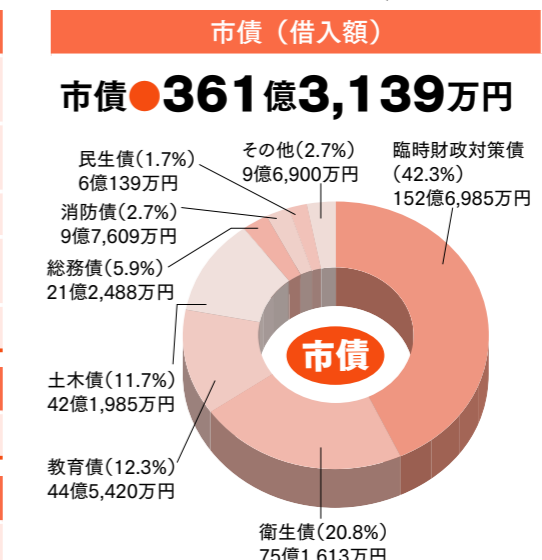
企業会計

独立採算を原則として経営を行う事業の会計

水道事業会計（税込）			下水道事業会計（税込）		
区分	収入	支出	区分	収入	支出
収益的収支	31億2,340万円	27億7,450万円	収益的収支	33億9,635万円	32億6,076万円
資本的収支	4億9,726万円	16億2,549万円	資本的収支	16億9,999万円	26億4,668万円

※収益的収支の支出額については、現金支出を伴わないものも含まれるため、収入額より大きくなる場合があります。また、資本的収支の収入額が支出額に対し不足する額については、各会計の内部留保資金で賄っています。

公有財産	
行政財産	土地：2,914,616㎡ 建物：368,801㎡
普通財産	土地：296,499㎡ 建物：21,758㎡
物権（地上権）	495㎡
有価証券 （テレビ埼玉株券ほか）	5,455万円
出資による権利	101億2,550万円
債権	
貸付金	2億8,968万円
基金	
財政調整基金など	238億4,699万円



市では、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。今回は、平成30年度の決算概要をお伝えします。

問い合わせ 財政課 ☎574-0603

※ページ内の金額や数値は、四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。